

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉の啓発				20年度予算コード	6	整理番号	199	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者施策課		コード	091001		昨年度 整理番号	220,221,223,224				
係名	管理係		連絡先 電話番号	1142							
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 障害者基本法第5条、7条、23条 (2) 杉並区障害者福祉推進協議会設置要綱 (3) 杉並区障害者自立生活者等表彰要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	障害者支援サイト「の～まらいふ杉並」の運営、「障害者のてびき」の発行、障害者週間事業としての各種催しの実施、杉並区障害者福祉推進協議会の実施。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 障害のある人もない人もお互いにふれあう機会を通じて、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。また、障害者の生活に役立つ情報を正確迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることができる。					
	活動指標名(式)	(1) 「うえるフェスタ」参加団体・作業所数 (2) 「ふれあい美術展」出展数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 障害者支援サイト「の～まらいふ杉並」年間アクセス数 (2) 障害者福祉推進協議会開催回数					
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	/	
			実績		計画		計画	22年度			
	活動指標(1)	組	71		72		72	73	95.9		
	活動指標(2)	店	150		160		214	220	97.3		
	成果指標(1)	件	-		36,000		36,207	100,000	14.5		
成果指標(2)	回	9		13		13	12	108.3			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,470		19,875		16,102	17,499	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0	0			
	(内) 委託費	千円	15,293		8,400		8,269	13,000			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.55	0.00	1.05	0.00	1.75	0.20	1.95	0.00	障害者支援サイト「の～まらいふ杉並」は、平成19年4月27日に開設した。 障害者福祉推進協議会は、障害者福祉懇談会と精神保健推進協議会を再編し、平成19年度に設置した。成果指標(2)の平成18年度数値は、障害者福祉懇談会の開催回数である。
	人件費	千円	14,043		9,597		15,995	17,823			
	非常勤職員分	千円	0		0		554	0			
	総事業費 + +	千円	32,513		29,472		32,651	35,322			
	単位あたりコスト(-)÷	円	457,930		409,333		466,443	490,583			
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0	0		
		国・都等からの支出金	千円	0		0		4,498	2,509		
特定財源計 +		千円	0		0		4,498	2,509			
差引: 一般財源 -		千円	32,513		29,472		28,153	32,813			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)					
	障害者支援サイト維持管理・運用委託(委託等)		1		式	8,269					
	平成20年版障害者のてびき(冊子・点字・テープ)作成(委託等)		1		式	3,724					
	障害者週間事業分担金		1		式	645					
	障害者福祉推進協議会(全体会・専門部会)		13		回	408					
	その他 (開催事務費・郵送費等)					3,056					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 199 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	97.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	133.8	19年度予算 執行率%	81.0
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成19年4月に障害者福祉推進協議会を設置した。年3回程度開催する全体会の他に、「計画部会」、「災害時要援護者支援対策部会」、「精神保健福祉部会」の3専門部会を設置し、意見の集約や施策の検討を推進することができた。 冊子版「障害者のてびき」は、3年に1回の発行であるため、20年度予算には計上していない。また、平成20年度は、障害者計画・障害者福祉計画の改訂年度であるため、関連経費を予算計上している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に、精神障害者を加え、三障害すべてを対象とした。 平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、施設体系やサービス体系が大きく変化した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	障害当事者の声を予算や施策に反映して欲しい。障害者に関する福祉施策の変化が大きく、冊子のてびきでは対応できない。障害者支援サイトにより、最新の情報を提供して欲しい。社会福祉協議会と共催で「うるフェスタ」を開催することにより、あらゆるジャンルの方の、様々な視点を取り入れることができた。					
	今後の予測	障害者自立支援法施行から2年が経過し、施策の内容や実施方法について、検討や見直しを行う。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害者福祉推進協議会や障害者区議会を実施することにより、区民から障害者福祉施策や区政全体に対して直接意見をを得ることができる。障害者に関する情報提供は、障害者の地域社会での自立支援に大きく貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 障害者週間事業について、実行委員会の機能を強化し、より充実した事業を実施していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 冊子版「障害者のてびき」について、事業所などに有償配布している。障害福祉施策の周知やサービス提供を円滑に行うため、事業者への有償配布を見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 障害者支援サイトへの情報掲載や更新について、すべて事業者への委託により行っている。簡易な更新を直接行うことにより、委託コストを下げるができる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 障害者支援サイトの維持管理・運用を委託している。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	平成20年版「障害者のてびき」の印刷を行った。 障害者団体ほか、企業等との協働により障害者福祉の推進に係る事業を協力して実施している。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者支援サイト「の～まらいふ杉並」は、アクセシビリティが高い設計で構築されている。今後の情報掲載・更新にあっても当初のレベルを維持・向上に努める。障害者週間事業の一環として、区政に対する当事者の意見を聞き反映していく場として実施している「障害者区議会」について、そのあり方やよりよい実施方法を検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 アクセシビリティに対する職員のスキルを向上していく必要がある。各所管課担当者により行っているサイト運用会議等の機会を使い、理解を深めていく。また、障害者区議会については、障害の種別により取り組み方法や意義が異なっている。各障害支援者の連携を強め、よりよい方法を模索していく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	同規模の事業を継続して実施していく予定である。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者団体への助成		20年度予算コード	7	整理番号	200	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者施策課	コード	091001	昨年度 整理番号	241・242・243				
係名	管理係	連絡先 電話番号	1144						
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	39 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 障害者基本法第3条、第4条 (2) 杉並区心身障害者団体助成要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	心身障害者団体の運営活動に係る経費の一部助成(16団体) 心身障害者の生涯学習事業(親子スポーツ教室)に係る経費の一部助成(1団体) 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」分担金の支出							
	活動指標名(式)	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 事業開催数 (2) 事業活動参加者数							
				(1) 活動参加者数対前年度比=実績(計画)/前年度実績 × 100 (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
	活動指標(1)	回	144	156	154	155	166	92.8	
	活動指標(2)	人	3,579	3,710	3,684	3,831	4,144	88.9	
	成果指標(1)	%	97	104	103	104	104	99.0	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	12,459	13,606	12,272	14,017	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.90	0.90	1.00	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,154	8,226	9,140	9,140		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	20,613	21,832	21,412	23,157			
	単位あたりコスト(-) ÷	円	143,146	139,949	139,039	149,400			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	33	0		
特定財源計 +		千円	0	0	33	0			
差引:一般財源 -		千円	20,613	21,832	21,379	23,157			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)			
	心身障害者団体への助成			16	団体	11,162			
	親子スポーツ教室活動費助成			1	団体	260			
	ふれあい運動会区分担金			1	件	850			
	その他 ()					0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	200	枝番号	
------	-----	-----	--

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	98.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	99.3	19年度予算 執行率%	90.2
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	各心身障害者団体の活動実態から、助成金の配分基準の見直しを図った。(研究会活動費)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	心身障害者団体(助成団体)は、当初10団体から一時、19団体まで増えた。しかし、自立的に活動することで補助金を辞退した団体や団体の統合があったため、平成19年度からは16団体に対して運営活動経費の一部を助成している。親子スポーツ教室については、昭和57年より助成している。ふれあい運動会については、昭和61年より開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会制度により実施している。現在、障害者団体連合会が事務局を担っている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの助成について現状維持を望む声強い。 各事業について、一般区民や学生が多く参加している。福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても成すところ大きい。				
	今後の予測	心身障害者団体(助成団体)については、会員の高齢化が進み、活動人数が減少することで運営活動が困難になる団体も少なくない。そのため、今後助成団体が減少する可能性がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害者の啓発活動や積極的な社会参加の機会を促進している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 心身障害者団体の運営活動に係る経費の一部助成については、各団体への配分基準を見直し、それぞれの団体の活動規模や内容に応じた助成にする。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 各団体ごとに年会費を設定し、会員から徴収している。ふれあい運動会は、事業の性格上、参加者から費用を徴収することはなさない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 自立活動が可能な心身障害者団体については自立を促す。現状では、各活動の経費についての一部を助成することによって、障害者の自立や社会参加の機会を促進しており、大幅に助成を削減することはできない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ふれあい運動会については、検討段階から心身障害者団体や町会、商店街、学校を含めた実行委員会形式により実施している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	区が助成している心身障害者団体が自立し、その団体が、他団体を育成していくよう導く。				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各心身障害者団体とも会員の高齢化等により、会員数が減少している心身障害者団体もある。今後、助成を対象とする活動内容及び配分基準についての見直しを行う。				
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	事業計画書、事業報告書により活動実態をよく把握し、助成対象とする活動内容を整理しながら、心身障害者団体と話し合い、理解を得ていく。				
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現行予算±5%の範囲に見込まれる。障害者団体への適正な助成を行っていく。				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉タクシー等		20年度予算コード	20	整理番号	210	枝番号			
担当部課名	保健福祉部障害者施策課	コード	091004	昨年度 整理番号	230,231,232						
係名	障害者福祉係	連絡先 電話番号	1145								
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	50 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	根拠法令等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	①月5300円分のタクシー券を3ヶ月分ずつ支給する。 ②月620を上限にガソリン代を050円(軽油30円)助成する。 ③リフト付タクシー1台の運行委託。予約迎車料なしで利用可。									
	活動指標名(式)	(1) タクシー券利用者数 (2) 燃料費助成対象人数									
				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 (2) 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱 (3) 杉並区リフト付タクシー運行事業実施要綱					
				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		交通費の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を容易にする					
				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) 発行したタクシー券の利用率 (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	5,985	6,212	6,086	6,276	6,787	89.7			
	活動指標(2)	人	1,433	1,502	1,453	1,578	1,523	95.4			
	成果指標(1)	%	93	93	93	93					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	296,239	319,689	300,761	312,459	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	7,434	7,434	7,434	7,434					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.07 0.50	1.29 0.50	1.29 0.50	1.33 0.39	*成果指標については、発行したタクシー券中、 利用された券の率を指標とした。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,694	11,791	11,791			12,156		
		非常勤職員分	千円	1,415	1,385	1,385			1,080		
	総事業費 + +	千円	307,348	332,865	313,937	325,695					
	単位あたりコスト(-)÷	円	51,353	53,584	51,583	51,895					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	3,000	3,000	3,000			3,000		
特定財源計 +		千円	3,000	3,000	3,000	3,000					
差引:一般財源 -		千円	304,348	329,865	310,937	322,695					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	タクシー券乗車料金				260,372						
	自動車燃料費助成				29,259						
	リフト付タクシー運行委託(委託等)				7,434						
	タクシー券印刷費				2,137						
	その他 ()				1,559						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 210 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	96.7	19年度予算 執行率%	94.1
		タクシー券の利用者は増加傾向。自動車燃料費助成は微増だが利用率は減少。リフト付タクシー利用者は減少傾向にある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		福祉輸送の需要増から福祉車両保有事業者との協定を増やした。また事業者選定基準を緩和しタクシー券協定事業者数を増やした(平成18年42社、19年75社、20年86社)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	タクシー券の受給者は増加しており、障害者の外出手段としてのニーズは高い傾向。自動車燃料費助成は微増だが利用率は減少。リフト付タクシー利用者は減少傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	タクシー券 100円券と500円券の組み合わせ枚数の変更。金額の増要望。事業者数の増要望。燃料費助成 助成額増の要望					
	今後の予測	福祉輸送の需要は高く、今後タクシー券、燃料費助成の受給量も増加が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 通院や社会参加等、障害者の行動圏拡大に大きく寄与しており、今後も一層の充実が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: タクシー券は利用者の増加が続いており、現行の事業費での事業継続は困難である。リフト付タクシーは現在の事業費に対する効果が小さい 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: タクシー券・リフト付タクシーは料金の一部助成、ガソリン代は購入費用の一部助成であるため受益者負担は困難。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 対象者の見直し、支給額の見直し、支給事務の外部委託など					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 燃料費助成以外は、運送事業者への委託事業である。今後タクシー券支給発送事務等について、外部委託の可能性を検討する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者・高齢者等の移動困難者を対象とした福祉交通システムの検討を進め、経費を抑えつつ、増加する需要に対応できる事業への移行を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 タクシー券等の支給制限を行った場合、対象外となる者(高齢者等)に対する代替サービスの検討が必要。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	移動困難な高齢障害者の増加や、社会参加意識の高まりなど、障害者の移動需要は増加が見込まれる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者通所訓練・授産事業等		20年度予算コード	9	整理番号	226	枝番号			
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	コード	141900	昨年度 整理番号	247,249,250,						
係名	管理係	連絡先 電話番号	1303								
上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 原則として、都内に居住する一般就労が困難な在宅の心身障害者に対し、通所の場を設け、必要な訓練・授産指導を行う団体。		(1) 障害者基本法第16条の3 (2) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施要綱 (3) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業等運営費補助金交付要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施団体に対し、年2回通所者の利用状況等による交付基準に従い、指導員人件費等事業の運営に必要な経費の一部を助成する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 心身障害者通所訓練・授産事業の経費の一部を助成することにより、心身障害者の福祉の向上を図る。							
	活動指標名(式)	(1) 通所者数(登録者) (2) 助成団体数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 年間延べ通所者数 (2) 前年度に対する工賃アップ作業所数(移行施設を含む)							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	248	206	206	143	0				
	活動指標(2)	所	16	13	13	9	0				
	成果指標(1)	人	49,748	42,346	38,867	26,908	0				
	成果指標(2)	所	0	14	8	20	36	22.2			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	304,547	270,363	263,077	232,923	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	420	720	525	735					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.60	0.60	0.60	0.60	指標について、障害者自立支援法に基づく新体系への移行を目的としているため、助成団体や通所者数を減らすことが目標となる。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,436	5,484	5,484			5,484		
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	309,983	275,847	268,561	238,407					
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,249,931	1,339,063	1,303,694	1,667,182					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	86,124	73,319	73,319			76,014		
特定財源計 +		千円	86,124	73,319	73,319	76,014					
差引: 一般財源 -		千円	223,859	202,528	195,242	162,393					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	訓練・授産事業運営助成		13	所	239,487						
	授産事業通所者交通費及び給食費		1,426	人	20,279						
	すぎなみ仕事ネット		14	所	2,786						
	経営コンサルタント		5	件	525						
	その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 226 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	97.3
		小規模作業所の申請に対して、要綱等の基準に基づく必要な指摘や指導を行い厳正に審査し、予算執行を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度の障害者自立支援法施行後、新体系への移行を推進するため、各小規模作業所に対しメリット等の説明をして理解を求めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	小規模作業所は徐々に増加してきたが、平成18年度をピークに16所となった。19年度に1所廃止と2所合併により新体系への移行があった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	障害者自立支援法の施行後は、新体系移行後の利用料に対する要望や苦情が特に多かった。					
	今後の予測	新体系へのスムーズな移行を図るため条件整備を進めているが、各小規模作業所に対しては訓練等給付への移行を勧奨していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 心身障害者に日中活動の場を提供し、社会的自立と就労機会を増やしてくれる小規模作業所への支援は重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 心身障害者の社会参加、復帰、安定した就労に向け、小規模作業所に対して新体系への移行を勧奨していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 障害者自立支援法の施行に伴い、障害福祉サービスにかかる費用の1割を利用者が負担することになったが、地域生活支援事業のうちの有料サービスは、当面区独自に費用の利用者負担は3%としている。今後は他のサービスとの整合を図る。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 新体系に移行しても、これまでどおり施設が運営を継続していくためには、施設への支援は必要である。ただし、訓練等給付への移行が増えれば、コストを下げることは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(へ)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 今後も施設継続のため、運営費の一部を助成するとともに新体系への移行の条件整備を図る。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新体系への移行を進める上で、小規模作業所の自立した施設運営や財政の費用対効果を踏まえれば、地域活動支援センター事業よりも訓練等給付への移行が効果的であり、小規模作業所に対して強く勧奨する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 訓練等給付への移行に当たっては、小規模作業所の理解は概ね好意的であるが、手続きの煩雑さや定員等のハードルも高く、一部の作業所は二の足を踏んでいる現状であるため、作業所へのより一層の支援や条件整備を早急に整える必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平成19年度の小規模作業所の訓練等給付への移行は、2所合併による移行があった。平成20年度には訓練等給付への移行は数所予定している。平成21年度には、すべての作業所が新体系への移行、特に訓練等給付への移行が完了するよう、作業所同士の合併、再編を促し、強力で誘導することにより、予算の支出を抑えていく。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		財団法人障害者雇用支援事業団		20年度予算コード	14	整理番号	228	枝番号			
担当部課名	保健福祉部 障害者生活支援課		コード	091131	昨年度 整理番号	255					
係名	管理		連絡先 電話番号	1304							
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	10 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	3	施策番号	事業コード	18
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例 (2) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例施行規則 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。					
	活動指標名(式)	(1) 雇用支援対象者数(雇用支援センター職業準備訓練生+登録者) (2) 職場定着支援訪問件数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 就職者の割合(支援対象者÷事業団からの就職者数) (2) 離職者数累計(上記就職者のうち)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	88	90	96	100	100	96.0			
	活動指標(2)	件	890	920	868	950	1,000	86.8			
	成果指標(1)	%	40	50	46	60	70	65.7			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	115,706	114,210	97,039	107,119	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.35	0.35	0.35	0.35	企業の障害者雇用に対する意識も高まり、就職者も増えたが、就職を希望する障害者も増えて多様化している現状がある。重度の障害者や精神障害者、高次脳機能障害者、発達障害者なども増えており、就職支援も難しくなっている。そのことと比例して定着支援を行う回数が飛躍的に伸びたが、離職者も増えた。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,171	3,199	3,199					3,199
		非常勤職員分	千円	0	0	0					0
	総事業費 ++	千円	118,877	117,409	100,238	110,318					
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,350,875	1,304,544	1,044,146	1,103,180					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	118,877	117,409	100,238	110,318					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	運営費助成					1	式				
	その他 ()							97,039			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 228 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	106.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	94.3	19年度予算 執行率%	85.0
	特例子会社化したためてんとう虫1店舗(阿佐ヶ谷店)を閉鎖したため、協力員人件費などが予算を下回ったことにより返還金が生じた。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	障害者雇用支援アクションプラン(平成17年度～平成21年度)に基づき、雇用支援センター部門以外の事業部門についても就労を目指す障害者職業準備訓練の場と位置づけ、一層の就労支援体制の充実に取り組んでいる。登録制の導入により準備訓練以外の相談者の需要に応えるとともに、平成19年度に特例子会社したことにより生じた人材を伸びる就労者の定着支援に当てていく。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が期待されている。法定雇用率が高まったことや国の障害者雇用施策の強化により障害者雇用に対する企業意識が高まっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	障害者自身または保護者及び施設職員などの就職に対する不安解消への対応や、障害者を雇用する側の企業に対する支援も含め、雇用から定着までの一環した支援の充実が期待されている。
	今後の予測	比較的重度の障害者や精神障害者の雇用も進むことにより、障害者自身や家族、施設職員などの就職に対する不安解消への対応や、障害者を雇用する側の企業に対する支援も含め、雇用から定着までの一環した支援の充実が期待されている。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害者の社会参加や就労機会の拡大に大きく寄与している	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 障害者の雇用支援は人的支援(ジョブコーチ等)によるところが大きい 理由または具体的内容: 企業への就職の拡大や、定着支援にはジョブコーチ等の増員が必要である。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 運営助成である。就労を希望する障害者に受益者負担を求めることは出来ない。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 大半は人件費であるが、管理事務費等の雑費の経費節減はある程度可能。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 障害者の就労支援は事業団との協働によるところが大である。今後は、事業団との協働と共に、運営の助成という形以外でも、区が実習先の確保のための支援や、委託訓練先への支援を考えることにより、企業との協働事業も視野に入れた就労支援事業の方向が考えられる。	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
--------------------	---	--

今後の事業のあり方 (中長期)	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・中重度の障害者の雇用支援も含め、ジョブコーチや定着支援アドバイザーの増員のほか、新たな就労の場や実習の場の確保開拓等、就労支援体制の整備充実を図る。 ・精神障害者や高次脳障害、発達障害のある方の就職についても、関係機関との連携を図りながら実施していく。 ・自立支援法上の就労移行支援事業を行う事業所に対し、プログラム作成のアドバイスや実習先の開拓等を行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 障害者の就労支援事業においては、事業団との協働体制が必要不可欠である。21年4月に高井戸事務所跡地に移転した後の事業内容を検討していく。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者共同作業所運営助成		20年度予算コード	29	整理番号	230	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	コード	141900	昨年度 整理番号	272				
係名	管理係	連絡先 電話番号	1303						
上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	59 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	精神障害者共同作業所を設置・運営する団体						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	精神障害者共同作業所を設置・運営する団体に対して運営経費の一部を助成する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 障害者自立支援法に基づく新体系への移行を促進するとともに、精神障害者が作業所に通所し、作業訓練・生活指導等の社会適応訓練を受けることにより、社会復帰を図る。				
	活動指標名(式)	(1) 助成施設数 (2) 在籍者数(10月現在)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 新体系移行数 (2) 精神障害者共同作業所を退所し、就職(学)をした者の数				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	所	15	15	15	6	0		
	活動指標(2)	人	424	445	417	167	0		
	成果指標(1)	所	0	5	0	7	18	0.0	
	成果指標(2)	人	5	10	4	10	10	40.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	317,113	322,871	322,821	257,053	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.60	0.60	0.60	0.60	指標について、障害者自立支援法に基づく新体系への移行を目的としているため、助成施設や在籍者数を減らすことが目標となる。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,436	5,484	5,484			5,484
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	322,549	328,355	328,305	262,537			
	単位あたりコスト(-)÷	円	21,503,267	21,890,333	21,887,000	43,756,167			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円	174,542	175,222	175,222			158,162
特定財源計 +		千円	174,542	175,222	175,222	158,162			
差引: 一般財源 -		千円	148,007	153,133	153,083	104,375			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	運営助成費		15	所	322,820				
	その他 ()				1				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 230 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	93.7	19年度予算 執行率%	100.0
		平成19年度予算では、障害者地域生活支援事業の地域活動支援センター事業として170,724千円を計上していたが、未執行のため、本事業に合算し精神障害者共同作業所運営助成事業として執行したための執行率増である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		精神障害者共同作業所の新体系への移行に向け鋭意努力しており、平成20年度移行は4月の継続支援B型1所の移行を皮切りに増加する見込みである。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和59年度に区単独で精神障害者共同作業所1所の助成を開始してから、平成19年度現在では15所の助成を行っている。平成18年度の自障害者立支援法の施行に伴い、新体系への移行に対する関心が高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者自立支援法の施行後、新体系への不安や現状維持を望む声が上がっていたが、新体系への移行のPRを行う中で解消されつつある。					
	今後の予測	新体系へのスムーズな移行を図るため、条件整備を進めているが、各作業所に対しては就労継続B型への移行を強く勧奨していく予定のため、20年度から21年度にかけて就労継続B型への移行が増えるものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:新体系への移行までの繋ぎとして、必要不可欠の事業であり、精神障害者にとって、作業所での作業やグループ活動は、社会参加、復帰の端緒となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 精神障害者の社会参加、復帰、安定した就労に向け、精神障害者共同作業所に対して新体系への移行を勧奨していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:障害者自立支援法の施行に伴い、障害福祉サービスにかかる費用の1割を利用者が負担することになったが、当面区独自に費用の利用者負担は3%としている。今後は他のサービスとの整合を図る。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:新体系に移行しても、これまでどおり施設が運営を継続していくためには、補助金の急激な削減は難しい。ただし、訓練等給付への移行が増えれば、コストを下げることは可能である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 今後も施設継続のため、運営費の一部を助成するするとともに、新体系への移行の条件整備を図る。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新体系への移行を進める上で、財政の費用対効果を踏まえれば、地域活動支援センター事業よりも訓練等給付事業への移行が効果的であり、精神障害者共同作業所に対して強く勧奨する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 訓練等給付事業への移行にあたっては、精神障害者共同作業所が手続きの煩雑さや定員等のハードルも高く二の足を踏んでいる時期が合ったが、徐々に移行に対する理解も進み、今後は円滑な移行に向け作業所との交流を深め、また一層の支援や条件整備を早急に整える必要がある。	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成19年度は精神障害者共同作業所の新体系への移行の準備段階であったが、平成20年4月に1所継続支援B型に移行した。年度中にはさらに数所移行予定である。平成21年度には、すべての作業所が新体系への移行、特に訓練等給付への移行が完了するよう、作業所同士の合併、再編を促し、強力に誘導することにより、予算の支出を抑えていく。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館事業運営			20年度予算コード	33	整理番号	231	枝番号
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	141900	昨年度 整理番号	258			
係名	管理係		連絡先 電話番号	1303					
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者		(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 同施行規則 (3) 杉並区障害者福祉会館運営協議会補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	障害者福祉会館の運営に関し、業務を委託する。福祉展等、各種教室事業を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。					
	活動指標名(式)	(1) 会議室の利用件数 (2) ふれあい広場登録者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 会議室の開館日に対する利用率 (2) 開設日に対する延べ利用者数					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%	/
	活動指標(1)	件	3,359	3,500	3,331	3,500	3,500	95.2	
	活動指標(2)	人	38	38	33	35	35	94.3	
	成果指標(1)	%	41	50	46	50	50	92.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	88,762	34,661	29,073	35,109	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円		434	379				
	(内) 委託費	千円	84,638	30,119	24,586	31,000			
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.05		0.05		0.05		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	453	457	457	457		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	89,215	35,118	29,530	35,566			
	単位あたりコスト(-)÷	円	26,560	9,910	8,751	10,162			
	財源	受益者負担分	千円	47	216	111	113		
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	47	216	111	113			
差引: 一般財源 -		千円	89,168	34,902	29,419	35,453			
受益者負担比率 ÷	%	0.1	0.6	0.4	0.3				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	施設運営管理委託		1	式	24,586				
	福祉展等各種催物助成		1	式	3,000				
	運営協議会運営補助		1	式	1,087				
	視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業等		1	式	379				
	その他 会館運営事務費				21				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 231 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	95.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	86.8	19年度予算 執行率%	83.9
		予算編成時に前年度実績を精査し、予算計上を行い、適正な執行に努めた。また、杉並区補助金適正化方針に基づき、補助金の適正化に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		障害者福祉会館運営協議会与話し、部屋の貸し出し、各種催物の開催について、利用率のアップ、内容の充実に努めた。18年度に対する事業費の減額は、自立生活相談事業、地域活動支援センター事業、社会参加促進事業の執行項目の変更によるものである。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	障害者福祉会館運営協議会が行う福祉展や各種催物を実施している。執行項目の変更により事業替えとなったが、障害者自立支援法に基づく地域活動支援センター事業を平成18年度から同運営協議会に委託することになった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	福祉展は、特に障害者福祉会館運営協議会が行うトップイベントであり、障害者を始め多くの一般区民の参加があり、関心の高さがあり好評を博している。また各種講座も参加者数が多く喜ばれている。					
	今後の予測	障害者が地域の中で自立し、社会参加を進める上で、当事業の果たす役割は大きく、障害者の期待はますます増大するものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害者の社会参加の場を増やすことは、行政の責務であり、今後も障害者施策の重要な課題である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 福祉展や各種催物の内容等について、参加者の意見を十分反映させ、内容の充実に努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 講習会等は障害者の社会参加の一環として行うものであり、受益者負担になじまないが、ひろば事業は地域活動支援センター事業として利用者負担率3%を徴収している。他のサービスとの整合を図る必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 運営費等の削減に努めており、これ以上の削減は、事業の縮小に繋がり事業の目的が達成できなくなる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 障害者福祉会館運営協議会が実施する福祉展等の運営に対し補助を行うとともに、委託による会議室等の貸し出し業務を一体的に実施する。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者福祉会館運営協議会に対しては、より責任のある執行体制とするため法人化を促していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現状維持にとどまらぬよう、障害者福祉会館運営協議会への働きかけを積極的に行っていく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	杉並区の補助金適正化方針に基づき、補助金の適正な執行に努める。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		視覚障害者会館事業運営		20年度予算コード	34	整理番号	232	枝番号
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	コード	141900	昨年度 整理番号	259			
係名	管理係	連絡先 電話番号	1303					
上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体		(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	三療(はり、きゅう、マッサージ)の施術の場の提供、視覚障害者向けの講習会、施設の貸し出しを行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 三療の免許を有する視覚障害者で、自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。また、点字、パソコン等の講習会を実施し、生活力の向上と教養を深める。				
	活動指標名(式)	(1) 三療(はり、きゅう、マッサージ)の利用者数 (2) 講習会参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施術登録者年数の平均 (2) 視覚障害者全体から見た講習会利用者数				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%
	活動指標(1)	人	1,808	2,000	2,091	2,200	2,200	95.0
	活動指標(2)	人	342	520	503	520	520	96.7
	成果指標(1)	年	7	8	8	8	8	93.8
	成果指標(2)	%	40	50	51	55	55	93.6
総事業費・コスト把握	事業費	千円	10,907	12,121	10,577	11,761	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円						
	(内) 委託費	千円	10,905	12,119	10,575	11,759		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.05	0.05	0.05	0.05		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	453	457	457	457	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	11,360	12,578	11,034	12,218		
	単位あたりコスト(-)÷	円	6,283	6,289	5,277	5,554		
	財源	受益者負担分	千円					
		国・都等からの支出金	千円					
特定財源計 +		千円	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	11,360	12,578	11,034	12,218		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0			
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)			
	会館運営委託		1	式	10,575			
	負担金		1	式	2			
	その他 ()				0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 232 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	104.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	96.7	19年度予算 執行率%	87.3
		予算の主な内容は、建物維持管理経費と人件費であり、適正な執行に常に努めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度から指定管理者制度を導入し、維持管理、運営をNPO杉並視覚障害者福祉協会が行っており、活発な活動を行うようになった。また、業務も適正で効果的に事業を展開してきた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	指定管理者である福祉協会は、創立以来70年の伝統ある団体であるが、当会館の前身の盲人会館含めて運営に深くかかわってきた。三療施術を始め講座や催物等の事業を着実に展開し、活況のある施設として息づいている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	三療施術は利用者に概ね好評である。また、年1回実施している無料マッサージも好評を博している。					
	今後の予測	施術者の高齢化、固定化が続いているが、潜在的には新人の参加も考えられるため、条件整備等を模索していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 視覚障害者の自立と社会参加の機会が増える。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 講習会等の参加を進めるために、広報誌等を活用し、PRに努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	視覚障害者の自立と社会参加を高める施設であり、受益者負担にはなじまない。ただし、三療施術など会員施術者のために場所を提供し、被施術者である利用者から利用料を徴収し本人の収入としている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 運営費等の削減に努めており、これ以上の削減は、事業の縮小に繋がり事業の目的が達成できなくなる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 18年度から指定管理者制度を導入し、維持管理、運営をNPO杉並視覚障害者福祉協会が行っている。区との連携も密で業務運営もスムーズである。					
	(3) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 さらなる会館の利用率や講習会の参加率を上げるため、広報誌の活用、PR等に努める。また、施術者の高齢化、固定化の解消に向けてNPO杉並視覚障害者福祉協会と協議を行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 NPO法人杉並障害者福祉協会との協議を頻繁に行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 事業運営費は、必要最小限の経費であるため、減額は困難である。 NPO法人杉並障害者福祉協会は平成20年度をもって契約切れとなるが、当協会の伝統、専門性、信頼性を勘案し、次年度以降も指定管理者として継続する方向で考えたい。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者交流館運営			20年度予算コード	35	整理番号	233	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	141900		昨年度 整理番号	264,274			
係名	管理係		連絡先 電話番号	1303						
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		7 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館		根拠法令等 (1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則 (3) 杉並区立和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の登録等に関する要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		18年度から指定管理者制度に基づき、和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営、貸出等を杉並区障害者団体連合会が行っている。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者の自主的な活動のために施設を貸出し、地域での障害者の自立と参加を促す。			
	活動指標名(式)		(1) 利用回数 (2) 利用人員		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 利用率(利用回数 ÷ 年間利用可能部屋数) (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	回	2,955	3,050	3,369	3,500	3,500	96.3		
	活動指標(2)	人	41,909	45,000	51,390	55,000	55,000	93.4		
	成果指標(1)	%	59	61	67	70	70	95.9		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	28,560	32,950	28,967	32,554	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	28,560	32,950	28,966	32,554				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10	0.10	0.10	0.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906	914	914				914
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	29,466	33,864	29,881	33,468				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	9,972	11,103	8,869	9,562				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	29,466	33,864	29,881	33,468				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	高円寺障害者交流館施設運営		1	式	16,559					
	和田高円寺交流館施設運営		1	式	12,408					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 233 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	110.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	114.2	19年度予算 執行率%	87.9
		予算の主な内容は、人件費と清掃費であり、適正な執行に常に努めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営、会議室の貸出を杉並区障害者団体連合会が行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	和田障害者交流館については平成7年度から、高円寺障害者交流館については平成14年3月から杉並区障害者雇用支援事業団に委託してきたが、平成18年度から杉並区障害者団体連合会が指定管理者として管理運営等を行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特段苦情はない。					
	今後の予測	障害者が地域の中で自立し、社会参加を進める上で、当事業の果たす役割は大きく、障害者の期待はますます増大するものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害者の社会参加の場を増やすことは、行政の責務であり、今後も障害者施策の重要な課題である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 講習会等の参加を進めるために、広報誌等を活用し、PRに努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 障害者の自立と社会参加を高める施設であり、受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 運営費等の削減に努めており、これ以上の削減は、事業の縮小に繋がり、事業の目的が達成できなくなる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 平成18年度から指定管理者制度を導入し、維持管理、事業運営を杉並区障害者団体連合会が行っている。					
	(3) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 さらなる会館の利用率や講習会の参加率を上げるために、広報誌の活用、PRに努める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区障害者団体連合会とPR方法などの協議等を行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業運営費は、必要最小限の経費であるため、減額は困難である。 杉並区障害者団体連合会は、平成20年度をもって指定管理者の指定解除となるが、当連合会の活発な活動状況、区内の多くの障害者団体の連合体であることから、次年度以降も指定管理者として継続する方向で考えたい。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	すぎのき生活園事業運営	20年度予算コード	36	整理番号	234	枝番号
-----------	-------------	-----------	----	------	-----	-----

担当部課名	障害者生活支援課	コード	091141	昨年度 整理番号	278,279
係名	すぎのき生活園	連絡先 電話番号	33998953		

上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大
-------	----	----	------------------

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 55 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 すぎのき生活園の利用者	(1) 知的障害者福祉法 (2) 障害者自立支援法 (3) 杉並区知的障害者援護施設条例、同施行規則
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 利用者に対する (1) 日常生活の支援 (2) 各種行事の実施	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 重度の知的障害者に対して、個別支援計画に基づき日常生活の支援を行うことにより、日中生活の場を確保するとともに地域での自立した生活の契機とする。
	活動指標名(式) (1) 日常生活支援活動における目標設定となる利用者数 (2) 日常生活支援活動における延べ利用者数	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 (2) 出席率

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%
		実績	計画	実績	計画			
指標	活動指標(1)	人	83	84	84	84	84	100.0
	活動指標(2)	人	16,387	17,737	16,976	17,917	17,917	94.7
	成果指標(1)	%	90	100	99	100	100	99.0
	成果指標(2)	%	87	90	86	90	90	95.7

総事業費・コスト把握	事業費		千円	94,609	96,756	94,844	96,656	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0		
	(内) 委託費		千円	77,518	80,329	54,637	78,854		
	職員数(常勤 非常勤)		人	46.00 1.00	46.00 1.00	49.21 1.00	44.00 2.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	416,760	420,440	449,779	402,160		
		非常勤職員分	千円	2,830	2,770	2,770	5,540		
	総事業費 + +		千円	514,199	519,966	547,393	504,356		
	単位あたりコスト(-)÷		円	6,195,169	6,190,071	6,516,583	6,004,238		
	財源	受益者負担分		千円	110,603	117,260	116,449		111,575
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0		0
特定財源計 +		千円	110,603	117,260	116,449	111,575			
差引: 一般財源 -		千円	403,596	402,706	430,944	392,781			
受益者負担比率 ÷		%	21.5	22.6	21.3	22.1			

19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	日常生活活動		84	人	7,253
	利用者健康管理		84	人	2,974
	給食運営		237	日	22,990
	通所バス運営		237	日	54,637
	その他 ()				6,990

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 234 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	95.7	19年度予算 執行率%	98.0
	例年通りの執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	特に大きな変更はなかった。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	利用者の高齢化及び重複化が進みより高度な支援内容が求められている。支援費制度に移行後、新たに個別支援計画に則った契約による利用に変化した。障害者自立支援法施行により、利用者がサービス費の1割(所得による減額制度有)を負担するようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住み慣れた杉並区で安定した生活が送れるような「地域生活への支援」施策の充実や家族の都合だけでなく利用者自身の意思決定を尊重した事業が期待されている。施設の利用の他に地域の社会資源を活用した支援が求められている。開園時間の延長やドアツードアのバス送迎の要望を受けている。
	今後の予測	21年度から新事業体系に移行するにあたり、すぎのきGとけやきGの相互利用や再編を行い、施設における行政資源の有効活用を図る。第三更生施設の整備により、公立知的障害者通所施設が2所になるため、自宅に近い施設を選べるようになり地域生活の推進が一層進む。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 重度の知的障害者の日中活動の場として一人ひとりの特性に則って充実した活動を提供できている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: すぎのきG・けやきGの相互利用の仕組みやグループの再編を検討を模索し、利用者がより多くの行政資源を活用できる環境を構築する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 支援サービス費については障害者自立支援法の規定により、受益者負担額は利用金額の1割と定まっているため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 宿泊行事については、食事料金を受益者負担として求めることや行事の必要性について検討を行う。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 日常活動の様々な場面でボランティアの協力を得て活動の充実を図っている。特に、スイミング、陶芸や音楽などの活動においては、ボランティアの専門性を活用できている。
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 旧法の知的通所更生事業から新事業体系の「生活介護」に移行して、サービスの充実を図る。すぎのきG・けやきGの一体的な運営を図り、相互利用やグループ間移行の仕組みをつくることにより利用者のサービスの選択の幅を広げる。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者及び家族の混乱や誤解が生じないように、丁寧かつ慎重に家族に説明していく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 新事業体系の「生活介護」事業を適正に実施する。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あけぼの作業所事業運営		20年度予算コード	37	整理番号	235	枝番号		
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	コード	141900	昨年度 整理番号	281,282,283,284					
係名	管理係	連絡先 電話番号	1303							
上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	55 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 あけぼの作業所利用者		(1) 障害者自立支援法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者に簡易な仕事を提供するとともに、生活や健康管理などの支援を通じて、自立生活を実現する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が、作業能率を伸ばし、責任を持って働く喜びを知ることにより、生活能力を高め、収入を得ることができる。また、一般就労が可能な人は、企業就労に積極的に取り組む。						
	活動指標名(式)	(1) 施設利用者数 (2) 月平均作業従事者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 障害者雇用支援事業団等への就労及び実習者の人数 (2) 作業従事率(月別出席率の平均)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	66	70	66	70	70	94.3		
	活動指標(2)	人	68	68	66	70	70	94.3		
	成果指標(1)	%	15	15	10	15	15	66.7		
	成果指標(2)	%	78	86	96	96	96	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,728	129,801	128,852	136,200	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	6,728	129,439	128,510	136,200				
	職員数(常勤 非常勤)	人	20.00	0.30	0.30	0.30	平成19年4月から(社)いたるセンターが指定管理者として運営することになったため、事業費の大幅な増と人件費の大幅な減となった。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	181,200	2,742	2,742				2,742
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	187,928	132,543	131,594	138,942				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	2,847,394	1,893,471	1,993,848	1,984,886				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	187,928	132,543	131,594	138,942				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)				
	指定管理による委託費			1	式	128,510				
	役務費			1	式	342				
	その他 ()					0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 235 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	94.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	97.1	19年度予算 執行率%	99.3
	平成19年度から指定管理者制度を導入し、事業運営及び維持管理のすべてを(社)いたるセンターに委託していることもあり、ほぼ100%の執行率である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	スマートすぎなみ計画に基づき、指定管理者制度を導入し、着実に事業を展開している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区立施設として直営してきたが、平成19年度に民間団体である(社)いたるセンターを指定管理者として事業を展開することになった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	指定管理者導入時の保護者アンケートによると、ほぼ満足している結果となった。				
	今後の予測	平成19年度から、(社)いたるセンターが事指定管理者として、事業運営及び維持管理を行ってきたが、平成20年度をもって委託契約が切れるため、平成21年度以降の民営化の取り扱いについて検討する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 障害者にとって未だ一般就労の機会が少ないため、就労の場としての作業所の役割は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 平成21年度の民営化について、より幅広い福祉サービスと効果的な運営を行うため、検討していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 障害者自立支援法の施行にともない、施設利用につき定率負担を導入したが、国の抜本の見直しの動向をまって検討する。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入してきたが、さらに平成21年度には民営化を図りコストを下げる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 平成19年度から指定管理者制度を導入してきたが、区と連携し順調に事業を推進してきた。				
	(3) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 あすなる作業所、ひまわり作業所が円滑な民営化をはたし順調に運営していることに伴い、あけぼの作業所についても、第3次スマートすぎなみ計画に基づき民営化する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 障害者自立支援法に基づく新体系への移行をまじかに控え、あすなる作業所、ひまわり作業所を含めたあけぼの作業所の取り扱いを関係団体と十分協議していく必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平成20年度までは指定管理者制度を継続するが、平成21年度は民営化するため、運営経費等については区の必要な助成を除き大幅な減となる見込みである。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こすもす生活園事業運営				20年度予算コード	38	整理番号	236	枝番号
担当部課名	保健福祉部 障害者生活支援課			コード	141900	昨年度 整理番号	261,262,263,285			
係名	こすもす生活園			連絡先 電話番号	3317-9312					
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 こすもす生活園の利用者				根拠法令等 (1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるようにする。				
	活動指標名(式)	(1) 登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数 (2) 延利用者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 (2) 出席率				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	27	27	27	26	30	90.0		
	活動指標(2)	人	4,513	5,525	4,636	5,493	6,360	72.9		
	成果指標(1)	%				100	100	0.0		
	成果指標(2)	%	79	100	84	100	100	83.9		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	50,426	52,210	51,977	50,743	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	812	1,196	1,149	0				
	(内) 委託費	千円	46,771	47,299	47,422	47,453				
	職員数(常勤 非常勤)	人	18.30 1.00	18.30 2.00	18.30 2.00	18.30 2.00	当園等の重度身体障害者通所施設に係る事務事業評価は、平成19年度までは「身体障害者通所施設給食運営」、「身体障害者通所施設利用者日常生活支援」、「身体障害者通所施設各種行事等」、「身体障害者通所施設利用者通所バスの運行」という4事業について実施していたが、今年度からは予算上の事業にあわせ、園ごとに実施することとした。 このため、成果指標の「個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合」については、今年度から新たに採用することとした。			
	人件費	千円	165,798	167,262	167,262	167,262				
	非常勤職員分	千円	2,830	5,540	5,540	5,540				
	総事業費 ++	千円	219,054	225,012	224,779	223,545				
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,083,037	8,289,481	8,282,593	8,597,885				
	財源	千円	47,119	63,273	63,229	72,191				
	国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0				
特定財源計 +	千円	47,119	63,273	63,229	72,191					
差引: 一般財源 -	千円	171,935	161,739	161,550	151,354					
受益者負担比率 ÷	%	21.5	28.1	28.1	32.3					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	送迎用バス運行業務委託		1	式	35,607					
	給食調理業務運営委託		1	式	11,815					
	利用者健康管理		1	式	1,039					
	医療的ケア		1	式	614					
その他 (事業費)				2,902						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 236 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	83.9	19年度予算 執行率%	99.6
	19年度の決算額が、当初予算の額を上回ったのは、給食調理業務委託に係る食数が予算見積りの段階より上回ったことなどによるものである。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成20年度の給食調理業務に係る委託料を引き下げたため、課内検討会での検討結果をふまえ、指名競争入札を実施したが、いずれの業者も19年度の契約金額より高い金額での入札であった。このため、19年度と同額での契約に応じた業者と契約を締結した。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成5年、重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、平成16年に支援費制度が開始した際、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行した。障害者自立支援法が施行された現在は、同法に基づく生活介護と自立訓練の2事業を実施している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	平成20年6月、こすもす生活園親の会から区長あてに当園を直営のまま存続してほしい旨の要望が出された。
	今後の予測	家族介助者の高齢化が進展しており、今後は利用者や家族に対するより総合的な支援やサービス提供が必要とされる状況も生じてくるものと想定される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 重度身体障害者のための貴重な日中活動の場としての機能を果たしながら、利用者の自立や社会参加に向けてさまざまな取組みを行っている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 長年区立施設として培ってきた知識や経験を十分に活用する。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 上記の知識や経験を職場全体で共有しながら、利用者の自立や社会参加の促進に向けてさまざまな取組みを行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業は障害者自立支援法に基づき実施されているため、費用負担の基準についても同法の適用を受けている。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 杉並区の障害者施設については、従来からの民営化に対する取組みによって、全体的な運営コストは縮減している。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 杉並区の障害者施設については、あけぼの作業所等の知的障害者授産施設(3施設)の民営化を実現している。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	また、重度身体障害者通所施設であるなでしこ生活園についても、本施設開設に伴い民営化を実施する予定である。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 障害者施設については、スマートすぎなみ計画であけぼの作業所となでしこ生活園の民営化が決定している。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 あけぼの作業所の完全民営化については、指定管理者の運営についての検証結果をふまえ実施する。	

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 なでしこ生活園の民営化に伴い、給食調理業務委託に係る依頼食数が1日あたり13~14食程度減となるため、当該業務量に見合う金額を減少させる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		なのはな生活園事業運営		20年度予算コード	39	整理番号	237	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 障害者生活支援課	コード	091143	昨年度 整理番号	261,262,263,285				
係名	なのはな生活園	連絡先 電話番号	3335-0415						
上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	個別支援計画の策定・実施、機能訓練、社会適応支援、創作的活動、スポーツ・レクリエーション、健康管理、医療的ケアの実施、更正相談、入浴サービス、バス送迎、給食提供など				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者がさまざまな活動や経験を通して、地域社会で生活するための意欲や能力を高める。 利用者の健康維持を図るため、健康管理の支援や健康管理・医療的ケアの実施等を行う。			
	活動指標名(式)	(1) 施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数) (2) 延べ通所者人数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 (2) 出席率=延べ通所者人数/(施設利用1日の定員×開所日)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	30	34	27	34	79.4		
	活動指標(2)	人	4,748	7,268	4,968	7,206	68.7		
	成果指標(1)	%	69	100	85	100	85.2		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	50,802	51,178	50,521	51,266	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円	47,380	47,608	47,433	48,001			
	職員数(常勤 非常勤)	人	20.92 0.90	22.00 0.90	23.03 0.90	22.00 0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	189,535	201,080	210,494	201,080		
		非常勤職員分	千円	2,547	2,493	2,493	2,493		
	総事業費 + +	千円	242,884	254,751	263,508	254,839			
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,096,133	7,492,676	9,759,556	7,495,265			
	財源	受益者負担分	千円	42,261	66,465	61,728	66,360		
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	42,261	66,465	61,728	66,360			
差引:一般財源 -		千円	200,623	188,286	201,780	188,479			
受益者負担比率 ÷	%	17.4	26.1	23.4	26.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	日常生活活動				1,223				
	利用者健康管理・医療的ケア				1,597				
	給食運営		1	式	12,143				
	通所バス		3	台	35,290				
その他 ()				268					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 237 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	79.4	活動指標(2)の 19年度達成率%	68.4	19年度予算 執行率%	98.7
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度に引き続いて、給食費の単価を引き下げるために課内に検討組織をつくり検討し20年度の契約に反映した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	加齢に伴う障害の重度化とご家族の高齢化によるニーズの多様化が顕著である。医療的ケアが必要な重度の利用者の増加や中途障害者が増加している。平成18年10月から障害者自立支援法の新事業体系(生活介護・自立訓練)に移行した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個々の利用者の健康等の状況に即したサービスの充実が求められている。機能訓練士・看護師への期待が大きい。					
	今後の予測	利用者の加齢に伴う重度化やご家族の高齢化も相まって介護支援に対する期待が一層高まる。加齢や重度化に伴い医療的ケアが必要な利用者の増加が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 重度身体障害者の生活介護・自立訓練は、地域での生活をより豊かにし、自立した生活を送るために必須の事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 利用者のニーズに対応した事業内容の見直しを常に実施し、地域住民との連携・技能ボランティア(パソコン、草木染め、七宝焼き、織物など)の協力によりサービスの充実を図っていく。 理由または具体的内容: 地域住民や技能ボランティア(パソコン、草木染め、七宝焼き、織物など)の協力などによりマンパワーの活用をより一層図っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 障害者自立支援法の施行のより、応能負担になっているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 送迎バスの長期間委託契約の導入や、給食の委託方法等の見直しによりコストの削減を図っていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 給食の調理等を業者委託している。 利用者の送迎にかかるバスを業者委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 給食の単価をさらに引き下げるために、課内に検討組織をつくり検討していく。 自立訓練事業について、対象者の範囲や通所手段など課内に検討組織をつくり検討していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者の健康管理・医療的ケアを安全に実施していくために、今年度退職の非常勤看護師の採用が必要であるが、困難職種のためなかなか採用できない。広報誌等により募集をはかり、早急に採用する必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 利用者の健康管理の面で、送迎バスの長時間乗車を解消するため、より近い通所施設の選択を促す。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		なでしこ生活園事業運営		20年度予算コード	40	整理番号	238	枝番号			
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	091148		昨年度 整理番号	262				
係名	なでしこ生活園		連絡先 電話番号	3316-6121							
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 3 施策番号 4 事業コード 19 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 なでしこ生活園の利用者(重度身体障害者及び重度重複障害者)		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区身体障害者通所施設運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	生活介護計画の策定、実施・機能訓練・社会適応訓練・創作的活動・スポーツ・レクリエーション・健康相談・医療と福祉の相談・介護サービス		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。							
	活動指標名(式)	(1) 施設登録人数 (2) 延べ通所者人数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 個々の利用者の年間生活介護計画について成果のあった利用者の割合 (2) 利用率 = 述べ利用人数 / 延べ利用予定人数 (%)							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画		22年度			
指標	活動指標(1)		人	9	10	10	10	/			
	活動指標(2)		人	1,363	1,965	1,440	2,127	/			
	成果指標(1)		%	78	100	80	100	/			
	成果指標(2)		%	79,8	100,0	73,3	100	/			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,562	17,381	16,561	19,006	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円	15,258	15,683	15,305	15,654				
	職員数(常勤 非常勤)		人	6.00	7.00	7.00	6.00	1.20	22年度の目標値については、21年度事業廃止のため記載しなかった。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	54,360	63,980	63,980	54,840			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	3,324			
	総事業費 + +		千円	70,922	81,361	80,541	77,170				
	単位あたりコスト(-)÷		円	7,880,222	8,136,100	8,054,100	7,717,000				
	財源	受益者負担分		千円	13,981	30,260	19,885	42,724			
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	13,981	30,260	19,885	42,724					
差引:一般財源 -		千円	56,941	51,101	60,656	34,446					
受益者負担比率 ÷		%	19.7	37.2	24.7	55.4					
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		生活介護計画の作成									
		日常生活介護									
		通所バス委託				1	式	11,945			
		給食委託				1	式	3,374			
		その他 ()						1,242			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 238 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	73.3	19年度予算 執行率%	95.3
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	利用者の増加、重度化、高齢化、ニーズ、要望の多様化 医療的ケア、医療的配慮の必要性の増大					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	警察学校移転跡地施設への円滑な移行					
	今後の予測	更なる重度化、高齢化、介護する家族の高齢化などにより、介護支援のニーズが増大する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:生活介護の充実により、地域生活がより豊かなものになり、家族の負担を軽減することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会法人による運営に移行する。					
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会福祉法人による運営に移行する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会福祉法人による運営に移行する。 利用者負担については障害者自立支援法の規定による。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:社会福祉法人による運営						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 本施設(警察学校移転跡地施設)の開設準備主管課、社会福祉法人と連携することなどにより、利用者が施設移行を円滑にできるように支援する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度、社会福祉法人運営の施設に事業を移行する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館の維持管理		20年度予算コード	1	整理番号	239	枝番号		
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課	コード	141900	昨年度 整理番号	275					
係名	管理係	連絡先 電話番号	1303							
上位施策名	No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 障害者福祉会館及びその利用者		(1) 身体障害者福祉法 (2) 身体障害者福祉センター設置運営要綱 (3) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等の参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。						
	活動指標名(式)	(1) 施設の延べ床面積 (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合数(代) (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	㎡	1,441	1,441	1,441	1,441	1,441	100.0		
	活動指標(2)	件	2	2	2	9	9	22.2		
	成果指標(1)	件		0	12	0	0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,124	7,338	6,518	11,964	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	469	1,343	1,187	5,703				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.05	0.05	0.05	0.05	活動指標(2)について、併設の福祉事務所が平成20年度中に移転することに伴い、分担していた保守管理委託契約を担当する予定である。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	453	457	457				457
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	5,577	7,795	6,975	12,421				
	単位あたりコスト(-)÷	円	3,870	5,410	4,841	8,621				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	5,577	7,795	6,975	12,421				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)				
	光熱水費			1	式	3,846				
	維持管理経費			1	式	1,485				
	施設保守管理委託			1	式	1,187				
	その他					0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 239 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	88.8
		利用者の安全で快適な環境を形成するために必要な経費を除き、障害者福祉会館職員及び利用者に対しても、備品を大切にすることや光熱水費の節減等の協力を求めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業費の増額については、障害者福祉会館と併設している高井戸福祉事務所の移転及び障害者雇用支援事業団の跡地移設に伴う保守管理委託経費の所管替えによるものである。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	保守管理委託については、特段の変化はない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	障害者福祉会館で実施している各種教室、会議室等の貸し出しについて、特段苦情はない。					
	今後の予測	建物、設備の老朽化が目立ち、不具合が生じてきた。利用者の快適で安全な活動を支えるため適切な保守管理をする必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 利用者に安全で快適な活動環境を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設の維持管理はもとより、業務委託する障害者福祉会館運営協議会の職員や近隣関係者等の協力を求め、効果的な環境を形成する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 障害者の社会参加を支援する付随的な業務委託に関するものであり、受益者負担にはなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 省エネや効率的な維持管理に努めているが、利用者の安全や施設の快適性を確保するための必要不可欠な経費である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 効果的かつ効率的に保守管理業務を遂行していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度中に併設の高井戸福祉事務所が移転し、換わって21年度に障害者雇用支援事業団(ワークサポート)が開設されることを機に、効果的かつ効率的な保守管理業務を行うため委託先、委託方法の検証や見直しを行う。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 移転する高井戸福祉事務所、転入するワークサポート及び障害者福祉会館の運営業務を委託する運営協議会の関係者等との協議を行う。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 基本的には、ワークサポートが転入する既存施設の1階部分の内部改修があるのみで、保守管理業務経費の増減はないと思われる。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		視覚障害者会館の維持管理			20年度予算コード	2	整理番号	240	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	141900	昨年度 整理番号	260				
係名	管理係		連絡先 電話番号	1303						
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		視覚障害者会館		(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、機械設備の保守点検等を実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適な環境の中で、活動できるように施設を維持管理する。				
	活動指標名(式)	(1) 施設延床面積 (2) 保守委託契約件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数(代) (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	㎡	167	167	167	167	167	100.0		
	活動指標(2)	件	2	2	2	2	2	100.0		
	成果指標(1)	件	0	0	0	0	0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,301	1,354	1,268	1,380	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	391	413	329	414				
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.02	0.02	0.02	0.02				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	181	183	183	183			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	1,482	1,537	1,451	1,563				
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,874	9,204	8,689	9,359				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,482	1,537	1,451	1,563				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)	
	光熱水費						1	式	729	
	施設保守管理委託						1	式	329	
	維持管理経費						1	式	210	
	その他 ()								0	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 240 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	93.6
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成18年度からNPO杉並区視覚障害者福祉協会を指定管理者として指定し、施設の維持管理業務も含めた運営管理を委託している。区による施設の維持管理は、光熱水費のほか清掃業務委託及び機械設備保守点検業務委託等のみで、規模は小さくなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特段苦情はない。					
	今後の予測	視覚障害者会館の事業運営と施設維持管理の整合を図る。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 事業規模としては小さい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 関連事業への吸収を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担になじまない					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)	理由または具体的内容: 関連事業への吸収を図る。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 指定管理者である視覚障害者福祉協会の委託業務に吸収する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者交流館の維持運営		20年度予算コード	3	整理番号	241	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	141900		昨年度 整理番号	260		
係名	管理係		連絡先 電話番号	1303					
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大				
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		7 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			根拠法令等		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館		(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (3) 杉並区立和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の登録等に関する要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	18年度から指定管理者制度に基づき、和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営、貸出等を杉並区障害者団体連合会が行っている。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。					
	活動指標名(式)	(1) 施設延床面積(2施設合計) (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数(代) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	㎡	693	693	693	693	693	100.0	
	活動指標(2)	件	1	1	1	1	1	100.0	
	成果指標(1)	件		0	1	0	0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,702	4,337	4,109	4,125	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円	2,178	2,373	2,334	2,342			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.04	0.04	0.04	0.04			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	362	366	366	366		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	4,064	4,703	4,475	4,491			
	単位あたりコスト(-)÷	円	5,865	6,788	6,457	6,481			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	4,064	4,703	4,475	4,491			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	施設保守管理		2	式	2,334				
	光熱水費		2	式	1,426				
	維持管理経費		2	式	170				
	その他 ()				179				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 241 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	94.7
		利用者の安全で快適な環境を形成するために必要な経費を除き、杉並区障害者団体連合会職員及び利用者に対しても、備品を大切にすることや光熱水費の節減等の協力を求めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	和田障害者交流館については平成7年度から、高円寺障害者交流館については平成14年3月から杉並区障害者雇用支援事業団に委託してきたが、平成18年度から杉並区障害者団体連合会が指定管理者として管理運営等を行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	保守管理委託については、特段の変化はない。					
	今後の予測	高円寺障害者交流館については、比較的新しい建物のため健全な保守管理が見込めるが、和田障害者交流館については、老朽化による不具合が生ずる懸念がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 利用者に安全で快適な活動環境を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 施設の適切な維持管理を行うとともに、杉並区障害者団体連合会職員及び利用者にも協力を求め、効果的な環境を形成する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	障害者の社会参加を支援する付随的な保守管理であるため、受益者負担になじまない					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 省エネや効率的な維持管理に努めているが、利用者の安全や施設の快適性を確保するための必要不可欠な経費である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 効果的かつ効率的に保守管理業務を遂行していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 維持経費節減に努める。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 維持経費節減に努める。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者施設運営			20年度予算コード	4	整理番号	242	枝番号				
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	141900		昨年度 整理番号	260						
係名	管理係		連絡先 電話番号	1303									
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 障害者生活支援課職員及びあけぼの作業所職員		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区立知的障害者援護施設条例 (3) 杉並区立身体障害者通所施設条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
	職員が行う事務事業に必要な書籍、事務用品等の購入研修、実習、協議会等開催		効率的かつ効果的な事務事業の執行										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 職員数		(1)											
(2) 職員一人当たりの必要経費		(2)											
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績		計画		計画	22年度					
	活動指標(1)	人	121		136		133	108	125.9				
	活動指標(2)	円	4,049		16,976		10,173	12,528	62.4				
	成果指標(1)												
成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	490		1,819		1,063		1,353		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円										
	(内) 委託費		千円										
	職員数 (常勤 非常勤)		人	0.10		0.10		0.10		0.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906		914		914		914			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	1,396		2,733		1,977		2,267			
	単位あたりコスト(-)÷		円	11,537		20,096		14,537		17,045			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	1,396		2,733		1,977		2,267				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0				
19年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)			
		維持管理経費						1	式	504			
		企業実習						1	式	141			
		能力開発推進委員経費						1	式	54			
		その他 ()								364			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 242 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	46.0	19年度予算 執行率%	58.4
		職員一人一人が事務事業の経費節減に努める。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		毎年、区が導入している環境マネジメントシステムの実施と併行して、環境にやさしく無駄をなくすよう心がけながら、事務能率の向上を図っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事務事業の経費削減に努めながら、障害者サービスがおろそかにならぬよう効率的かつ効果的に執行している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	通所者の保護者等から、自立支援法に関する様々な要望が寄せられている。					
	今後の予測	平成18年度に自立支援法が施行され、障害者を取り巻く環境が大きく変化するなか、事務事業に携わる障害者施設の職員の責任は重くなる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 経常的事務の一環である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 職員一人一人が常日頃から経費節減の認識を持って業務に当たる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担に馴染まない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 職員一人一人が常日頃から経費節減の認識を持って業務に当たれば、自ずとコストの下がる余地が生まれる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 出きる限り経費節減による事務事業の執行に対して、業者等から理解と協力を得る。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎのき生活園維持管理			20年度予算コード	5	整理番号	243	枝番号	
担当部課名	障害者生活支援課		コード	091141	昨年度 整理番号	275				
係名	すぎのき生活園		連絡先 電話番号	33998953						
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 すぎのき生活園の利用者				根拠法令等 (1) 知的障害者援護施設条例 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃や設備の保守点検等を実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が清潔かつ安全に利用できる施設を維持する。				
	活動指標名(式)	(1) 延べ床面積 (2) 開園日数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 中規模修理件数 (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	㎡	2,432.11	2,432.11	2,432.11	2,432.11	2,432.11	100.0		
	活動指標(2)	日	237	237	237	237	237	100.0		
	成果指標(1)	件	10	10	14	10	10	140.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	17,546	21,556	20,668	22,177	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	7,283	7,696	7,515	8,425				
	職員数 (常勤 非常勤)	人	2.50 1.00	2.50 1.00	2.54 1.00	2.50 1.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,650	22,850	23,216	22,850			
		非常勤職員分	千円	2,830	2,770	2,770	2,770			
	総事業費 + +	千円	43,026	47,176	46,654	47,797				
	単位あたりコスト(-)÷	円	17,691	19,397	19,183	19,652				
	財源	受益者負担分	千円	0	2	0	2			
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	2	0	2				
差引: 一般財源 -		千円	43,026	47,174	46,654	47,795				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	光熱水費		1	式	8,402					
	修繕費等		1	式	3,204					
	その他 ()				9,062					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 243 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	95.9
		19年度については、自動ドア装置の緊急修理や空調機の洗浄修理などの緊急修繕を行ったこと、また酷暑による空調運転日数がふえたことにより、決算額は増加した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		特になし					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成14年度に、2つの施設であったすぎのき生活園、けやき生活園を併合した。その後、維持や保守の契約の一本化を行うことにより維持管理経費の削減に努めている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特段の苦情は寄せられていない。					
	今後の予測	建物及び設備の老朽化が目立ってきており、トラブルが起き始めている。経年化に対応した修繕を計画的に実施していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 利用者に安全で快適な職場環境を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 日々の点検を強化して早期に小規模修繕を行うとともに、大規模修繕については営繕課と連携を深めて計画的に行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 目的外使用については数年間実績がない。また、目的利用の負担金については障害者自立支援法に負担金額が定められているため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: ブロック契約の地域を広げることによる契約単価の削減やブロック契約の種類拡大による契約単価の削減					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公立の障害者施設が4園あり、バスの送迎や給食調理委託など各園に関連する契約については、管理係が一括して行って効率化を図っている。今後は管理係が各園をまとめて契約する項目を増やすことによりより一層の効率化を図る。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 課内で検討会を立ち上げて共通認識を持って進めていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 維持管理経費については大きな変化は生じていない。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		こすもす生活園の維持管理		20年度予算コード	6	整理番号	244	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 障害者生活支援課		コード	141900	昨年度 整理番号	260			
係名	こすもす生活園		連絡先 電話番号	3317-9312					
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 こすもす生活園		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。							
	活動指標名(式)	(1) 施設の延床面積 (2) 開園日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 中規模修理件数 (2)					
指標	活動指標(1)	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(2)	㎡	794	794	794	794	794	100.0	
	成果指標(1)	日	239	239	239	237	239	100.0	
	成果指標(2)	件	6	9	9	10	10	90.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,863	8,263	7,831	8,785	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	3,371	3,616	3,315	3,564			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.70 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00	平成19年度までは、こすもす生活園、なのはな生活園、なでしこ生活園の3施設をまとめ、1事業(評価対象事務事業名:身体障害者通所施設維持管理)として扱っていたが、20年度からは予算事業にあわせ、各園ごとに評価を行うこととした。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,342	6,398	6,398			6,398
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	14,205	14,661	14,229	15,183			
	単位あたりコスト(-)÷	円	17,880	18,454	17,910	19,111			
	財源	受益者負担分	千円	58	60	57			60
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	58	60	57	60			
差引:一般財源 -		千円	14,147	14,601	14,172	15,123			
受益者負担比率 ÷	%	0.4	0.4	0.4	0.4				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	施設保守管理委託		1	式	3,315				
	光熱水費		1	式	3,235				
	維持管理経費		1	式	1,266				
	その他 ()				15				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 244 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	94.8
	光熱水費については、ISOの観点から全体的な節減に努め、予算に対して概ね90%程度の執行に留めることができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		建物の修繕費(園が執行する小修繕の経費)について、5万円増額した。 (平成19年度:20万円 平成20年度:25万円)				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	施設開設から15年が経過し、設備面を中心に老朽化に伴う不具合が生じてきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。				
	今後の予測	施設全体の老朽化に伴って、今後ますます建物や設備の修繕等に要する経費の増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:重度身体障害者の日中活動の場として、利用者に安全で快適な生活環境を提供している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:現状の施設の生活環境を維持継続していくためには、施設の老朽化に応じた経費の増額が必要である。				
	成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容:今後も引き続き、利用者に安全で快適な生活環境を提供していくためには、施設の不具合の状況に応じた修繕費や設備の交換費用など経費の増額が必要である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:本施設で実施している事業は、障害者自立支援法に基づくサービスであり、費用負担の基準についても同法の適用を受けている。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:施設の老朽化に伴い、不具合の数や程度は増加、深刻化するため、経費の増額は避けられない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)清掃業務や電気設備、エレベーター、自動扉などの保守を業務委託によって実施している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設開設から15年が経過し、設備面を中心に老朽化に伴う不具合が生じてきている。老朽化に伴う不具合の数や程度は、今後ますます増加し、また深刻化していくことが見込まれるため、計画的に保守・補修等を行っていく必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区全体の施設保全計画との整合を図りながら、計画的に進めていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 給食調理の業務用冷蔵庫の買替え費用等の予算を見積もる必要がある。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		なのはな生活園の維持管理			20年度予算コード	7	整理番号	245	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 障害者生活支援課		コード	091143	昨年度 整理番号	260				
係名	なのはな生活園		連絡先 電話番号	3335-0415						
上位施策名		No	33	障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 なのはな生活園		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適な環境の中で、生活及び作業活動を行うことができるように施設を維持する。						
	活動指標名(式)	(1) 施設延べ床面積 (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合数 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	㎡	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0	/	
	活動指標(2)	件	8	8	8	8	8	100.0		
	成果指標(1)	件	3	0	6	0	0			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	10,007	10,034	9,017	10,846	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	4,534	4,539	3,842	4,812				
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.13	1.00	1.16	1.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,238	9,140	10,602	9,140			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	20,245	19,174	19,619	19,986				
	単位あたりコスト(-)÷	円	19,872	18,821	19,258	19,618				
	財源	受益者負担分	千円	15	1	17	1			
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	15	1	17	1				
差引: 一般財源 -		千円	20,230	19,173	19,602	19,985				
受益者負担比率 ÷	%	0.1	0.0	0.1	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	施設保守管理委託		1	式	3,842					
	光熱水費		1	式	4,376					
	維持管理経費		1	式	799					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 245 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	89.9
		光熱水費は、ISOの目標を達成するために内部努力により節減が図られた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	施設維持管理経費の削減に努め、保守委託の見直しを進めてきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	建物及び設備が老朽化し、トラブルが多くなってきた。経年劣化に対応した適切な保守委託等を実施していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:利用者に安全で快適な職場環境を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:施設の維持管理を業者委託だけでなく、施設 の環境を良好な状態に保持するために、園庭の植栽の手入れ等をグ リーンボランティアや近隣関係者等の協力を得て実施していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:障害者自立支援法の施行により、施設利用等 を応益負担とした。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:建物や施設設備の不具合の件数が年々増加 しており、今後、ますます増加することが予想され経費の増加が見込ま れるため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の 方策) 庁舎清掃、電気工作物、機械警備、消防設備、機械設備等の保守を 業務委託により実施している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設建設から10年が経過し、雨漏りや排煙窓など建物や設備等に老朽化による不具合が生じている。今後、老朽化による不具合の件数が年々増加の傾向が顕著になっており、計画的に保全を図っていく必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の施設保全計画と整合性を図り、老朽化に対応した修理等を計画的に行っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 維持管理経費については、大きな増減がない。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		なでしこ生活園維持管理		20年度予算コード	8	整理番号	246	枝番号	
担当部課名	保健福祉部障害者生活支援課		コード	091148		昨年度 整理番号	260		
係名	なでしこ生活園		連絡先 電話番号	3316-6121					
上位施策名		No	33		障害者の社会参加や就労機会の拡大				
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 3 施策番号 4 事業コード 19 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 なでしこ生活園		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区身体障害者通所施設運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適な環境の中で諸活動を行うことができるように施設を維持管理する。					
	活動指標名(式)	(1) 施設延べ床面積 (2) 保守委託契約数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合数(件) (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	㎡	452	452	452	452			
	活動指標(2)	件	2	2	2	2			
	成果指標(1)	件	2	0	1	0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,794	5,463	4,389	5,427	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円	2,473	3,366	3,248	3,429			
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.20	1.20	1.20	1.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,872	10,968	10,968	10,968		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	14,666	16,431	15,357	16,395			
	単位あたりコスト(-)÷	円	32,453	36,359	33,982	36,279			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	14,666	16,431	15,357	16,395			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	施設保守管理委託		1	式	3,248				
	高熱水費		1	式	599				
	維持管理経費		1	式	542				
	その他 ()				0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 246 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	80.3
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	利用者数の増加があった。建物設備の老朽化が顕著であるが、施設維持管理経費の削減に努めた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	本事業については、21年度は廃止し、社会福祉法人による運営に移行する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:利用者に安全で快適な生活介護の環境を提供している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会福祉法人による運営に移行する。					
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会福祉法人による運営に移行する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会福祉法人による運営に移行する。 利用者負担については、障害者自立支援法の規定による。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:21年度は事業廃止・社会福祉法人による運営に移行する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 民営化(具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度は事業廃止	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 21年度は事業廃止		